

保護者の皆様

吹田市立山田第三小学校
校長 花田 郁子

学校教育診断アンケートの結果について

平素より、本校の教育活動推進にご理解とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、昨年11月に実施いたしました学校教育診断アンケートにおいては、235名の保護者の方からの回答をいただきました。ご協力いただきましてありがとうございました。アンケート集計結果、「そう思う」「どちらかというと思う」を肯定的な評価とし、概ね80%以上を超えるものを「概ね良好」と捉え、80%未満のものについては、改善が必要なものとしてまとめました。結果は、全教職員で共有し、学校教育活動、学校運営において改善に努めてまいります。

紙面の都合上、結果の詳細については本校ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

児童におけるアンケート結果のまとめ<低学年>

- 低学年のアンケート結果においては、12項目のうち「学校には相談しやすい先生がいる」という項目以外は、肯定的な評価が80%以上でした。
- 12項目中6項目については肯定的な評価が90%を超え、特に、「あゆみは、自分の学習のようすをわかりやすく表している」では肯定的な評価がほぼ100%でした。また、「授業でわからないことについてたずねやすい」は昨年度より10ポイント増となっています。
- 運動会や遠足などの行事は楽しい、と肯定的に評価している児童は81%で、昨年より14ポイントと大きく減となっています。

低学年の児童には、「相談する」という質問が難しかったのかもしれませんが、10%の児童が、わからない、と回答していました。

低学年の児童にとって、安心して学校生活を送るためには、担任が理解してくれている、担任に認めてもらっていると感じることは必要なことです。さらに、担任と良好な関係を築き、自分の思いや考えを話せるようにしていきたいと思えます。

昨年に比べ、行事が楽しいという評価が下がったのは、授業時数確保のために、遠足を生活科の学習や社会見学と兼ねたりしたことが影響したのかもしれませんが、行事の内容を充実させていきます。

児童におけるアンケート結果のまとめ<高学年>

- 高学年のアンケート結果においては、14項目中4項目で肯定的な評価が80%以下という結果でした。特に、「外で遊んでいる」という項目について肯定的に評価している児童は、62%という結果で、これは昨年度から8ポイント減となっています。
- 「クラスでは、思っていることを言いやすい」「授業でわからないことをたずねやすい」という項目での肯定的な評価をしている児童は73~74%でした。
- 「地震や火事の時どうしたらよいか教えてもらっている」ではほぼ100%近い児童が肯定的に評価しています。

授業では、自分の思いや考えを発表する機会や、友だちと交流する機会を多く作るようにしていますが、自分の意見が受け入れられるか不安だったり、わからないことや疑問に思うことを言葉にする勇気が持てない児童がいるようです。クラスの仲間づくりや、教室の環境づくりに努めていきます。

低学年に比べて行事やそれに向けての取り組みを肯定的に評価している児童が多いのは、主体的に取り組むことで、達成感や満足感を実感できているからだと思えます。児童の主体性を尊重するとともに、児童会行事や兄弟学級などの異年齢集団での取り組みを進めていきます。

保護者におけるアンケート結果のまとめ

- 17の学校運営・教育活動に関する項目のうち、肯定的な評価が80%以上の項目は13項目でした。中でも、「児童や地域の実態にあった教育活動をしている」「学校行事や児童会行事は、工夫されている」については肯定的な評価が90%を超えていました。保護者の方自身に関する項目でも6項目で肯定的な評価が80%以上でした。「学校の教育目標や教育方針90%を超える高いものでした。」
- 「学校はいじめや差別のない学校づくりに取り組んでいる」では、肯定的な評価は77%で、これは昨年度の67%から大きく増となっています。わからないという回答も昨年度の24%から13%に減となっています。「学校は問題行動防止のため早期指導や適切な対応を行っている」でも、肯定的な評価は、72%と昨年から10ポイントの増となっています。
- 「地震や台風などの非常時の対応についてマニュアルが示されている」では肯定的な評価が96%と高くなっていました。これも昨年度から5ポイント増となっています。
- 「ボランティアで教育活動をサポートする」では、肯定的な評価が50.8%、否定的な評価が49.2%とほぼ半々でした。

学校の行事や、参観懇談に積極的に参加しようとしていただいていることがよくわかります。また、実際に参観していただいたり、懇談や行事の説明会にご参加いただくことで、学校の教育活動の内容を理解していただけているようです。

いじめ対応や問題行動等への対応については、保護者の方の理解が必要です。生じた問題には担任・学年だけでなく、校長、教頭、首席、生徒指導主担者が対応に当たります。一回の指導で解決しないケースやたくさんの児童がかかっているケースでは時間をかけて継続的に指導を行っていきます。そして全教職員で共有し、再発防止にも取り組んでいきます。このような取り組みの方法や、学校としての対応方針については、学校便りなどでもお知らせしていきます。

毎年年度当初に、保存版として台風・地震発生時の対応についての文書を配布させていただいています。それに加え、今年度は、緊急時の児童の下校について、レベル1～4に分けて決めたものを、保存版として配布させていただきました。緊急時の対応については、学校と保護者の方が共通理解をもって対応することが重要です。ご理解ご協力をお願いいたします。

記述事項のまとめ

子どもたちが学校でよりよく伸びていくためのアイデアをお書きください、としたところ以下のようなご意見がありました。

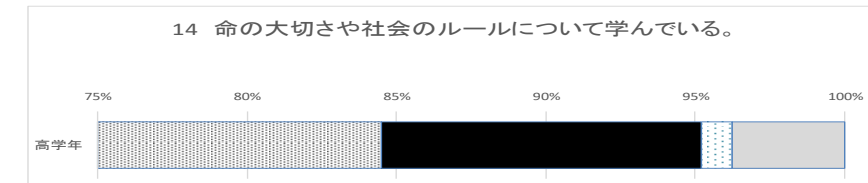
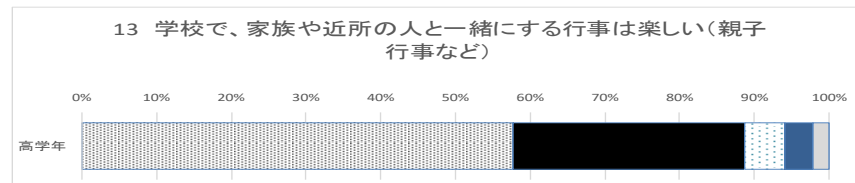
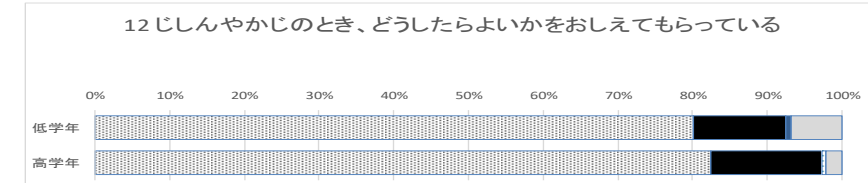
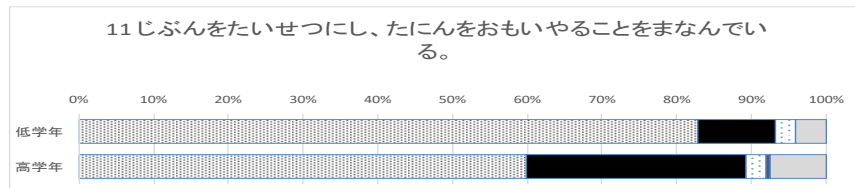
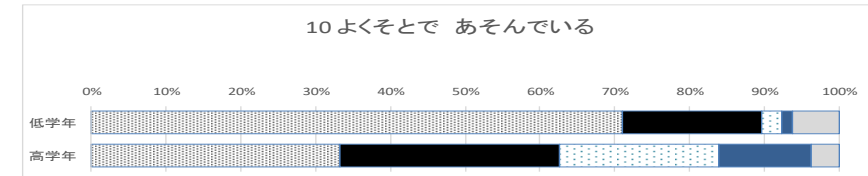
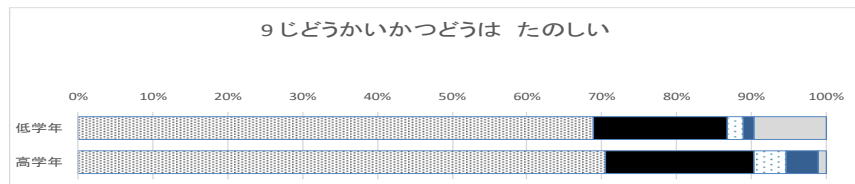
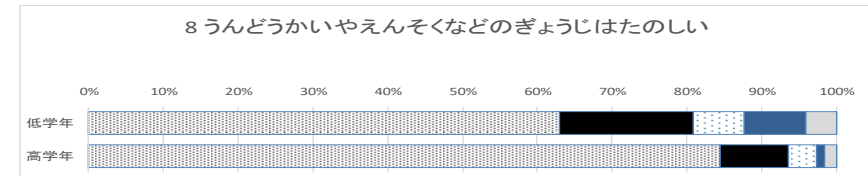
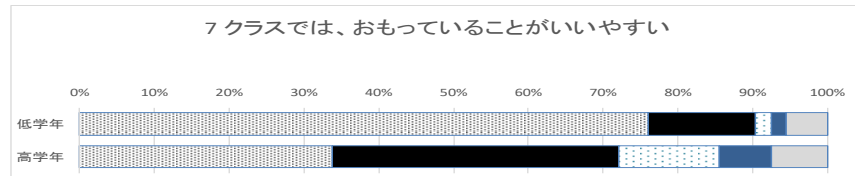
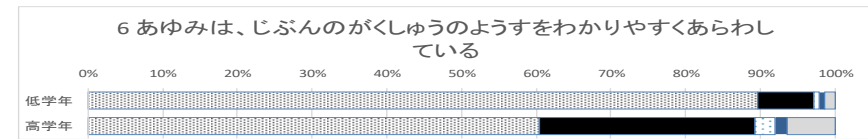
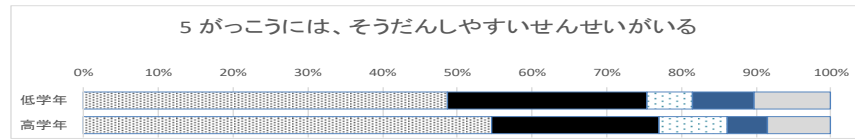
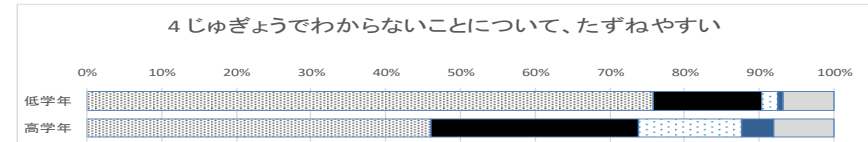
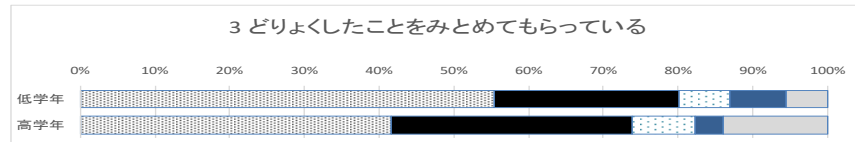
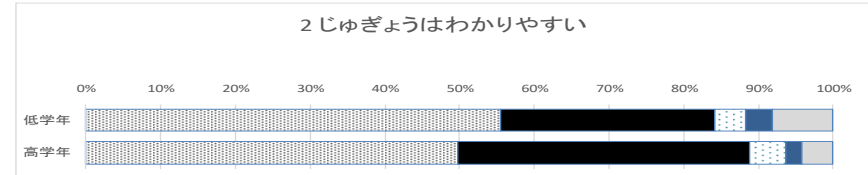
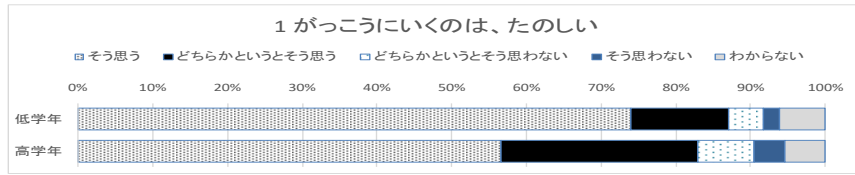
- ◇休み時間や放課後の過ごし方について、
クラス、学年にかかわらず先生が子どもと一緒に運動場で遊ぶようにする。放課後は、毎日フレンドさんに来てもらって、運動場で遊べるようにする。
- ◇図書室や読書について
図書室に自由にに行けるようにする。子どもにたくさんの本と出会わせる機会をつくる。
- ◇学習、テスト、補習について
わからないところを教えてもらえる教室を作って放課後に行けるようにする。教室の机の並べ方を工夫する。長期休業中に学校で補習を受けたり遊んだりできるようにする。
- ◇学校行事・地域行事のとりくみについて
子どもが主体のイベントをする。学校を使って地域行事をする。

いただいたご意見については、様々な角度から実現可能か考えながら、子どもたちにとってよりよい教育活動をおこなっていくために参考にさせていただきます。

また、学校としてすでに組んでいることもありますので、学校便り等で子どもたちの様子をお知らせしていきます。

*各質問項目ごとの集計結果はグラフにしてHPの掲載しておりますのでご覧ください。

【児童用】



2019年度アンケート集計結果(保護者用) 学校運営・教育活動に関すること

